

第76回国立病院総合医学会が、2022年10月7日(金)・10月8日(土)に熊本城ホールにて開催されました。今回の大会テーマは「Branding Presence Marketing ～選ばれるためには～」。多彩な講演やシンポジウムが行われた中、若手医師を対象とした「若手医師フォーラム」が7日に開催され、各自が取り組んできた症例や研究について発表する貴重な機会となりました。今回、多数の応募の中から口演発表で最優秀賞に輝いたお二人の先生に話を伺いました。なお、最優秀賞の先生には副賞として国際学会への参加費用が補助されます。



## 口演発表「臨床研究部門」最優秀賞 × Dr. Shohei Nomoto

### Association between blood pressure fluctuations and visual hallucination in Lewy body disease

宇多野病院 脳神経内科 臨床研究部 野元 翔平

[指導医] 副院長 澤田 秀幸 / 臨床研究部長 大江田 知子

#### 応募のきっかけとテーマは？

研究をブラッシュアップしたいという思いと、ベストプレゼンターを選ぶ大会形式であるということに面白みがあったため、応募しました。テーマはレビー小体病患者における血圧変動と幻視との関連についてです。MRI画像を用いて、辺縁系に着目し、レビー病理の進展が幻視と異常な概日血圧変動の双方に影響を与えている可能性が示唆されました。具体的には、幻視は血圧変動と異常な概日血圧変動、

および辺縁系の広範な萎縮と関連し、辺縁系の広範な萎縮は異常な概日血圧変動とも関連していました。

#### 発表にあたり苦労したことは？

VSRAD®というアルツハイマー型認知症の診断支援ソフトウェアを利用することで画像解析時間を大幅に短縮できましたが100例近くのデータを整理し、解析することは大変で地道な作業でしたが、自分の仮説が検証できた時は非常に嬉しかったです。宇多野病院は、日常

診療から臨床研究まで手厚くサポートを受けられるため、若手医師にとって、非常に恵まれた環境だと思いました。

#### 発表を通して学んだことは？

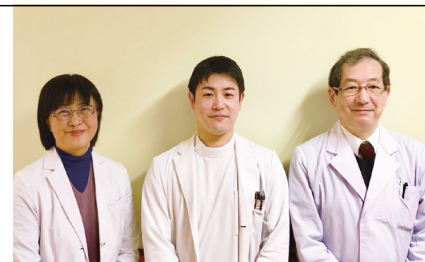
発表後に、座長の長谷川先生から「プレゼン中はアイコンタクトと抑揚を意識したら、もっと発表が良くなるよ」と助言を頂きました。また、他の発表者のプレゼンテーションが聞き入ってしまうほど上手く、とても参考になりました。

#### 将来の夢、今後の予定は？

パーキンソン病を主に、未だ解明されていない病態について明らかにし、患者の予後を良くしたいです。

#### 今後、フォーラムや発表の場に参加を考える方にメッセージを

このフォーラムは、国際的に活躍できる医師を育成する場として、非常に貴重な機会だと思います。是非、積極的に発表に参加して、多くの批評を頂き、日常診療や研究の励みにしていただければと思います。



## 口演発表「症例報告部門」最優秀賞 × Dr. Tomoyoshi Ota

### Deep brain stimulation of the posterior subthalamic area and ventral intermediate nucleus for severe tremor: A case report

西新潟中央病院 機能脳神経外科 太田 智慶

[指導医] 臨床研究部長 福多 真史

#### 応募のきっかけは？

国際学会での発表経験が豊富な上級医に「今後のためにいい練習の機会になるよ」と勧めてもらったことがきっかけです。

#### 口演のテーマとポイントは？

脳腫瘍が原因で顎や頸部、上下肢に高度の振戦を認めた患者さんに対して、脳深部刺激療法を施行して著明な振戦の改善を認めた経験をテーマに発表しました。症候性の振戦に対する脳深部刺激療法

は効果に乏しいことが多く、経験症例では従来の標的に加えて最近注目されている標的も同時に刺激したことで、より高い振戦抑制効果を認めたことがポイントです。

「振戦」という視覚的にわかりやすい症状が改善した発表であれば、脳外科以外の先生方にも理解してもらいやすいと思ったからです。

#### 英語での発表で感じたことは？

英語スライドは聴衆の方が読むのにも時間がかかるので、文字数

を極力減らすようにしました。またアニメーションを効果的に使い、直感的にわかりやすいスライド作りを心がけ、発表時はつたない英語でも伝わるように、感情をこめた抑揚や、ジェスチャーも意識的にいれました。スムーズに話せるようになるまで100回ぐらいは練習しました(笑)。

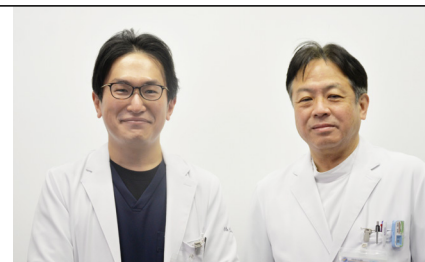
#### 発表を振り返って、感想は？

最優秀賞をいただけたことが自信になり、今年の夏にアイルラン

ドで行われる国際学会で発表することを決めました。苦勞を乗り越えると新しい世界がみえることがあると思いました。

#### 将来の夢、今後の予定は？

診療のスキルを向上、また機能脳神経外科の領域でまだ分かっていないことを少しでも解明できるように、研究活動も頑張りたいです。「どんなときでも、患者さんのためになっているかを常に考える」ということを大切にしています。



BACK NUMBER × バックナンバー

過去の「NHO NEW WAVE」が  
WEB サイトから閲覧できます！

[https://nho.hosp.go.jp/education/education\\_nho.html](https://nho.hosp.go.jp/education/education_nho.html)

NHO ニューウェーブ 検索



# NHO

facebook & twitter

本部公式アカウント

facebook

<https://www.facebook.com/nho.headoffice>



twitter

[https://twitter.com/nho\\_headoffice](https://twitter.com/nho_headoffice)



本部のSNSで発信したい情報があれば広報係までご相談ください！